

し 知っておきたい日本文化

動画リンク: <https://youtu.be/l4J-Eml6Ggl>

今回は「知っておきたい日本文化」を学びながら、日本語を勉強しましょう。この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立ててください。

■私のこと

こんにちは。私は森川あやと言います。21歳の大学生で、神奈川に住んでいます。国際文化を専攻していて、いろいろな国の習慣や歴史について学ぶのがとても楽しいです。外国の映画や音楽が好きで、高校生のときに「もっと世界を知りたい!」と思うようになりました。英語を学び、外国の友達と交流する機会をたくさん作っています。趣味は旅行とカフェ巡りです。休日には新しいカフェを探して、美味しいコーヒーやスイーツを楽しむのが私のリフレッシュ方法です。また、旅行では、日本国内だけでなく海外にも行きたい場所がたくさんあります。現地の人と話したり、その土地ならではの料理を食べたりするのが大好きです。日本には、季節ごとに違った美しさや特別な行事がたくさんあります。外国の皆さんに日本の素敵な文化や日常をお伝えできれば嬉しいです。

■日本では新学期が4月に始まる

海外では9月に入学式や始業式が行われることが多いですが、日本では新学期が4月に始まります。途中で会社に入社する中途入社というのがありますが、一般的には会社に入社するのも4月です。会社のお金の計算も4月から新しくなります。そのため、4月は「新年度」と呼ばれ、3月は「年度末」と呼ばれています。年度末の3月は、翌月の新年度に向けていろいろと準備をしたりするので忙しくなることがあります。日本では桜が4月に咲きます。そのため、何かが新しく始まる時期と桜の花は私たち日本人の記憶のなかでとても深い関係があります。

■日本では全国で一斉に成人式が行われる

日本の「成人式」は、20歳を迎えたとき、大人になることをお祝いする大切な日です。新しい大人たちは、スーツや、日本の伝統的な服である振り袖や袴を着ることが多いです。この式は、日本特有のものだと言えます。例えば、アメリカでは16歳になると運転免許が取れるので「Sweet sixteen」というお祝いをします。ただ、アメリカでは誕生日にお祝いのので、日本のように同じ日に全国でお祝いするわけではありません。日本の成人式は1月に行われます。

■日本ではひな祭りに高価な人形を飾る

ひな祭りは、3月3日に女の子の成長をお祝いする日本の行事です。この日には、女の子の健康と幸せを願って、高価な「ひな人形」を飾ります。海外の人には珍しく感じるかもしれませんが、なぜなら、海外では女の子だけを祝う行事が少ない上、ひな人形みたいに高い値段の物を特別に飾る文化がありませんからです。クリスマスのときに飾りつけをする国もありますが、ひな祭りのようにたくさんのお金を使うことは珍しいことだと言えます。外国の人からすれば、人形を飾る理由を不思議に思うかもしれませんね。

■日本ではバレンタインデーに女性から男性にチョコレートを贈る

バレンタインデーは、2月14日に恋人たちが愛を誓う特別な日です。この日は、昔のローマのキリスト教司祭の話から来ています。しかし、日本では少し違い、女の子が男の子にチョコレートをあげる日として知られています。これは、世界の中でも日本だけの習慣であり、他の国ではあまり見られないことです。日本でチョコレートをプレゼントするようになったのは、戦後にお菓子の会社が広めたからだと言われています。チョコレートの会社はたくさん商品を販売したかったので「バレンタインデーには男性にチョコレートをプレゼントしよう」と宣伝したのです。海外の事情をよく知らない多くの日本人は、バレンタインデーとはそういうものだと思います、それが今の日本でも習慣になっています。

■日本のお年玉

日本のお正月には、子供たちに「お年玉」としてお金をあげる習慣があります。子供たちはこのお年玉をもらうことをとても楽しみにしています。

大人たちは、親戚の家に行くとき、お金を「ポチ袋」と呼ばれるお年玉用の小さな袋に入れて準備していきます。

このような習慣は、日本独特のもので、他の国の人にとっては新鮮な文化かもしれない。

中国や台湾の正月（旧正月）では「紅包」と呼ばれるお金が入った赤い袋が大人から子供へ渡されますが、それと同じです。

ただし、中国や台湾の紅包は正月だけではなく、誕生日や結婚式など多くの祝い事で使用されています。

ちなみに、日本のお年玉の金額は、小学生は1,000円～5,000円、中学生は3,000円～10,000円、高校生は5,000円～10,000円、大学生は10,000円～30,000円くらいが平均だそうです。

■日本のトイレ

日本では、誰も使っていない公共のトイレのドアは開いていますが、家のトイレのドアは使っていないなくても閉まっています。外国では、家のトイレも使っていないときはドアを開けておくことがあります。日本の家では、トイレを使ったあとはドアを閉めることを忘れないでください。

日本の公共トイレは無料で、とてもきれいです。荷物をかけるフックや棚があるので、荷物を床におく必要がありません。ヨーロッパなどの海外で公共トイレは有料のことがあります。日本の公共トイレはすべて無料で利用できます。無料なのにこんなにきれいなのはすごいと海外の人に驚かれています。

日本の公衆トイレは、洗浄ベンズなど高性能で、世界中から人気があります。実際、外国人観光客の中には、トイレを買って帰る人もいます。新しいトイレには、便座が勝手に開いたり、水が自動で流れるなど、驚きの機能がたくさんあります。手を洗う場所にはジェットタオルもあります。

■日本のコンビニ

日本にしていると24時間営業のコンビニがあることを当たり前と感じてしましますが、多くの外国人に驚かれます。

世界にはコンビニがない国も多いです。24時間営業で温かい食べ物などいろいろのものを売っているお店は貴重です。銀行のATMやコピー機などもあり本当に便利です。

日本のコンビニの品揃え、値段、品質に海外の人は驚くようです。

■日本のデパ地下

海外の人から「日本のコンビニは品質が高い」と評判ですが、さらに高い品質の食品を買い求めるのがデパ地下です。デパ地下とは、デパートの地下を意味しています。

伊勢丹、阪急、高島屋、三越、松坂屋、そごう、東急、小田急などのデパートが日本では有名です。デパートは百貨店という意味です。ほぼすべてのデパートでは地下に食品売場が集中しており、日本人から「デパ地下」と呼ばれ、多くの人に愛されています。

デパ地下で売られる食品は、コンビニで買うより少し高いですが、とても新鮮でおいしいです。日本のデパ地下に行くときは是非お腹をすかせて行ってください。きっと、日本の「デパ地下」のクオリティにあなたは驚き、感激すると思います。

■日本のドラッグストア

日本で有名なドラッグストアといえば、ウエルシアやマツモトキヨシです。日本のドラッグストアには何でもあってすごい！と感激する外国人が多いようです。中でも、365日24時間営業のウエルシアO-GUARD新宿店は毎日多くの外国人観光客が来店します。1階の入口付近には弁当・惣菜・菓子・飲料・酒などをそろえたコンビニエリアがあります。その他には医薬品エリアもあります。1階のレジ前にはコーヒーの販売機があり、店舗入口付近の窓側にはイートインスペースもあります。「イートインスペース」は日本独自の和製英語と呼ばれるもので、英語圏で使われているわけではありません。海外の英語圏では通じませんが、日本ではわりとよく使われるので覚えておきたい和製英語の1つです。

2階は主に化粧品エリアです。女性だけではなく男性用の化粧品も販売しています。ウエルシアO-GUARD新宿店は、新宿駅西口に続く大通りと青梅街道が交差する交差点にある複合ビル「オーガード新宿」の1階・2階にあります。東京の新宿を訪れたときは、是非ここに立ち寄って、お土産のお菓子や化粧品などを採って楽しんでください。

■多くの日本人は湯船に入る

湯船とは簡単にいうと湯をためる浴槽のことです。浴槽のことをなぜ湯船と呼ぶのかというと、江戸時代まで遡ります。日本では江戸時代、船の中に浴槽をつくり、お金を払ってもらいお客さんに楽しんでもらっていました。

いま せんとう ふね うえ せんとう ゆぶね よ
今でいう「銭湯」です。つまりは、船の上の銭湯を「湯船」と呼んでいたそう
です。いま ゆ ためる よくそう おな いみ つか ことば
今では湯を貯める浴槽と同じ意味で使われている言葉です。
にほん ゆぶね はい ふる しゅうかん せかい てき み
日本では湯船に入るのが古くから習慣になっていますが、世界的に見るとこう
した しゅうかん も くに すく ゆぶね はい ぶんか けん にほんじん
した習慣を持つ国は少ないです。湯船に入る文化があるアジア圏でも、日本人
ほど 毎日 湯船に入る習慣はない国がほとんどです。湯船に入る習慣のない国は、
にゅうよく す おお にほん しめ きこう こと
入浴ではシャワーだけで済ませることが多いです。日本の湿った気候と異なり
くうき かんそう くに まいにちていねい からだ あら だいじょうぶ じょうけん そろ
空気が乾燥した国では、毎日丁寧に体を洗わなくても大丈夫な条件が揃ってい
るためといわれています。ちなみに、おきなわ いちねんじゅうあた ゆぶね はい
沖縄などは1年中暖かいので、湯船に入る
しゅうかん かにい おお
習慣がなく、シャワーのみという家庭も多いです。

■日本のおもてなし

にほん むかし せいしん あいて
日本には昔から「おもてなしの精神」があります。「おもてなし」とは、相手
をおも ところ こ しんせつ むか いみ せいしん にほんじん
を思いやり、心を込めて親切に迎えることを意味します。この精神は、日本人
にちじょうせいかつ ぶんか ふか ねづ とく きゃくさま むか たいせつ
の日常生活や文化に深く根付いており、特にお客様を迎えるときに大切にされ
ています。

いんしょくてん つね えがお たいおう あいて なに もと
たとえば、飲食店やホテルでは、常に笑顔で対応し、相手が何を求めているか
を さきまわ かんが こま ていきょう ちゅうもん き さい
を先回りして考えるようなきめ細かいサービスが提供されます。注文を聞く際
に しゃがんで めせん あ こま きゃくさま てだす
にしゃがんで目線を合わせたり、困っているお客様にはすぐに手助けをするな
ど、ちい きくば いた み むりょう
小さな気配りが至るところで見られます。また、レストランでは無料でお
みず ていきょう あめ ひ かみぶくる ぬ
水やおしぼりが提供されるだけでなく、雨の日には紙袋が濡れないようにビニ
ール袋を ぶくる くふう
かけてくれるなどの工夫もされています。

にほんじん かし かん しょうちょう
このような「かゆい所に手が届く」ようなサービスは、日本人の価値観を象徴
するものであり、せかいじゅう たか ひょうか にほん
世界中から高く評価されています。「おもてなし」は、日本
ほこ ぶんか ひと おお がいこくじん かんどうてき とくべつ たいけん
が誇る文化の一つとして、多くの外国人にとっても感動的で特別な体験となる
でしょう。

■日本の伝統「わびさび」

にほん どくじ びいしき かんたん あらわ ことば ふかんぜん
「わびさび」とは、日本独自の美意識を簡単に表した言葉です。不完全なこと、
か ぶる うつく かん かんが かた がいこくじん
枯れたり古くなったもののなかに美しさを感じる考え方です。外国人にもよく
し さどう ほんさい にほん ていえん でんとう れいがい
知られている茶道や盆栽、日本庭園など伝統あるものには例外なく「わびさび
の せいしん と い ことば ひょうげん うつく
精神」が取り入れられています。「わびさび」は言葉では表現できない美し
さを あらわ いみ ぶんしょう せつめい むすか にほんご にほんじん
を表す意味もあり、文章で説明するのが難しい日本語ですが、日本人にとっ
たいせつ ぶんか
て大切な文化のひとつです。

■日本では鶴を縁起の良い鳥とする

日本では「鶴」は幸運の象徴とされ、長生きや幸せなどを意味しています。昔から、物語や芸術、ことわざにも良く出てくる特別な鳥です。しかし、世界にはいろいろな文化があって、同じ動物でも違う意味を持つことがあります。たとえば、北欧の国々では、鶴を「死を運ぶ鳥」として怖がることもありますし、ハイチでは「悪魔の使者」とされることもあります。そのため、鶴が良い意味を持つ日本の風習、例えば千羽鶴をもらったとしても、怖がったり気分を害したりしないようにしてくださいね。

■日本のカラオケ文化

カラオケについては、日本が発祥地であり、日本人が友達や仕事仲間と楽しむ文化として広がっています。カラオケボックスでは、個室で自由に歌を楽しむことができ、この活気あるカラオケ文化は、外国人にとって新鮮で驚きの体験となることが多いです。

カラオケボックスは、日本全国どこにでもあり、都市部だけでなく地方の小さな町でも見つけることができます。その数は10,000店舗以上とも言われており、駅前や商店街、ショッピングモールの中など、アクセスしやすい場所に多くあります。24時間営業の店舗もあり、終電を逃した後や深夜に歌いたくなったときでも利用できます。

また、カラオケボックスでは、歌を楽しむだけでなく、軽食や飲み物も提供されています。ピザやフライドポテト、パスタなどの食事メニューから、デザートやアルコール類まで幅広く楽しめます。一部の店舗では、本格的な料理や期間限定メニューが提供されることもあります。また、フリードリンク（飲み放題）がついているプランも人気です。

カラオケは、友達同士でのパーティーや誕生日のお祝い、仕事仲間との飲み会の二次会として利用されるだけでなく、一人で楽しむ「ヒトカラ」（一人カラオケ）も人気です。特に、誰にも邪魔されずに好きな曲を練習したい人にとっては理想的な場所です。

日本のカラオケは、国際的にもユニークな娯楽として知られています。

■チップは払わなくてもいい

日本に、チップの習慣はありません。レストランやホテル、タクシーなど、どのようなサービスを受けても、チップを払わなくても問題ありません。サービス料はすでに料金に含まれているため、追加でお金を渡す必要はありません。

日本の従業員は、チップをもらうことを期待せず、誠実に仕事をするのが普通です。そのため、チップの習慣がある国から来た人が、日本でもチップを渡そうとすると、受け取る側が困惑してしまうことがあります。チップを渡すよりも、嬉しい気持ちを直接伝える方法を選びましょう。

たとえば、手厚いサービスを受けて感動したときは、笑顔で「ありがとう！」と感謝の言葉を伝えるだけで、従業員はとても喜びます。言葉にするのが恥ずかしい場合は、一言だけでも感謝の気持ちを手紙に書いて残すのも素敵な方法です。

一部の場所にはアンケート用紙が設置されています。このアンケートに感謝の気持ちやサービスの感想を書くと、従業員にとって大きな励みになるだけでなく、サービスの質向上にもつながります。お世話になった従業員の名札に名前が書かれていた場合、その名前を記載すると、上司の評価が上がるなどのメリットがあるため、とても喜ばれます。

日本では、感謝の気持ちを笑顔や言葉、そして心遣いで伝えることが、何よりの「お返し」となります。チップがないことを気にする必要はありません。むしろ、心を込めた感謝が「おもてなし」の精神をさらに引き立ててくれることでしょう。日本のこの特別な文化を知って、安心して観光やレジャーを楽しんでください。

「知っておきたい日本文化」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

